

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

ダニ 2:1 ネブカデネザルの治世の第二年に、ネブカデネザルは、幾つかの夢を見、そのために心が騒ぎ、眠れなかった。

2:2 そこで王は、呪法師、呪文師、呪術者、カルデヤ人を呼び寄せて、王のためにその夢を解き明かすように命じた。彼らが来て王の前に立つと、

2:3 王は彼らに言った。「私は夢を見たが、その夢を解きたくて私の心は騒いでいる。」

2:4 カルデヤ人たちは王に告げて言った。——アラム語で——「王よ。永遠に生きられますように。どうぞその夢をしもべたちにお話してください。そうすれば、私たちはその解き明かしをいたしましょう。」

2:5 王は答えてカルデヤ人たちに言った。「私の言うことにまちがいはない。もし、あなたがたがその夢とその解き明かしとを私に知らせることができなければ、あなたがたの手足を切り離させ、あなたがたの家を滅ぼしてごみの山とさせる。」

2:6 しかし、もし夢と解き明かしとを知らせたら、贈り物と報酬と大きな光栄とを私から受けよう。だから、夢と解き明かしとを私に知らせよ。」

2:7 彼らは再び答えて言った。「王よ。しもべたちにその夢をお話してください。そうすれば、解き明かしてごらんに入れませう。」

2:8 王は答えて言った。「私には、はっきりわかっている。あなたがたは私の言うことにまちがいはないのを見てとって、時をかせごうとしているのだ。」

2:9 もしあなたがたがその夢を私に知らせないなら、あなたがたへの判決はただ一つ。あなたがたは時が移り変わるまで、偽りと欺きのことばを私の前に述べようと決めてかかっている。だから、どんな夢かを私に話せ。そうすれば、あなたがたがその解き明かしを私に示せるかどうか、私にわかるだろう。」

2:10 カルデヤ人たちは王の前に答えて言った。「この地上には、王の言われることを示すことのできる者はひとりもありません。どんな偉大な権力のある王でも、このようなことを呪法師や呪文師、あるいはカルデヤ人に尋ねたことはかつてありません。」

Dan2:1 Now in the second year of Nebuchadnezzar's reign, Nebuchadnezzar had dreams; and his spirit was so troubled that his sleep left him.

2:2 Then the king gave the command to call the magicians, the astrologers, the sorcerers, and the Chaldeans to tell the king his dreams. So they came and stood before the king.

2:3 And the king said to them, "I have had a dream, and my spirit is anxious to know the dream."

2:4 Then the Chaldeans spoke to the king in Aramaic, "O king, live forever! Tell your servants the dream, and we will give the interpretation."

2:5 The king answered and said to the Chaldeans, "My decision is firm: if you do not make known the dream to me, and its interpretation, you shall be cut in pieces, and your houses shall be made an ash heap."

2:6 "However, if you tell the dream and its interpretation, you shall receive from me gifts, rewards, and great honor. Therefore tell me the dream and its interpretation."

2:7 They answered again and said, "Let the king tell his servants the dream, and we will give its interpretation."

2:8 The king answered and said, "I know for certain that you would gain time, because you see that my decision is firm:

2:9 "if you do not make known the dream to me, there is only one decree for you! For you have agreed to speak lying and corrupt words before me till the time has changed. Therefore tell me the dream, and I shall know that you can give me its interpretation."

2:10 The Chaldeans answered the king, and said, "There is not a man on earth who can tell the king's matter; therefore no king, lord, or ruler has ever asked such things of any magician, astrologer, or Chaldean."

「心騒ぎ、眠れない時。」ダニエル2章1～10節

ダニエル書は前605年の、バビロニア帝国のネブカデネザル王がエジプト軍を撃退した年に始まり、バビロニアを滅ぼしたペルシャ帝国のクロス王がエルサレム神殿再建命令を出した537年に書き終わっています。アッシリア帝国は、609年にバビロニア・メディア連合軍によって滅びています。

この箇所では、ネブカデネザルの残酷さを非難する註解が多いのですが、国の盛衰が問われる大事な時に、無益な学問・知識を繰り述べる者たちへの苛立ちとして理解されることができません。「あなたがたは時が移り変わるまで、偽りと欺きのことばを私の前に述べようと決めてかかっている。」(9)。

「ネブカデネザルは、幾つかの夢を見、そのために心が騒ぎ、眠れなかった。」(1)。2章には「王の王である王よ。天の神はあなたに国と権威と力と栄誉を授け」(37)とありますから、偉大な王であるネブカデネザルは、自分の果たすべき使命と働きを探っていたのです。自分の判断が間違っており、せつかくの夢の導きをないがしろにしてしまったら、国が滅び、民が虐殺にあたり、捕囚の憂き目を見ることになるのです。それなのに、せつかく知者を優遇し、占いを引き立てたのに、こういう夢をあてることも説明することもできないならば、何の役にも立たないと怒ったのです。

アメリカのコロナワクチン接種率は9/20で54%で、日本よりも少なく、共和党支持者、福音派プロテスタント、農業従事者、30歳未満の若者ではワクチン接種反対者は半数近くおられます。バイデン大統領は、連邦行政機関と委託業者の従業員に接種を義務付け、ワクチン接種しないのでコロナウイルスに感染したという報道を続けているのにも関わらず、その状況です。この大統領の方針に26州の知事が反対し、違憲訴訟を起こそうとしている知事も10州おられます。

日本では、医療従事者も、指導者も、宗教者も、ワクチンを打つべきだと信じています。信仰というものは、その対象・神学・理念・信仰指導者の品性などをよく吟味した上で入信するものです。私には、感染情報と上っ面の知識だけで判断するその人たちが危ういと思います。命が掛かっていることに関して、十分吟味しないで受け入れる人々は、どのように生きてきたのでしょうか。

ネブカデネザルは、呪術者や知恵者だというならば、どんな質問にも答えろ、と命令し、彼らは「この地上には、王の言われることを示すことのできる者はひとりもありません。」(10)と答えたので、殺されることになったのです。ところが、ダニエルは夢の内容と意味を語ります。「秘密を明らかにされる方が、これから起こることをお示しになったのです。」(29)。

現代が終末であることを悟らず、利権や権力を求める不信者の指導者を信じて行動を起こすならば、その行く末は悲惨なものとなります。

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、大地震があり、方々に疫病やききんが起り、恐ろしいことや天からのすさまじい前兆が現れます。」(ルカ21:10-11)とあります。気候変動で多雨や日照りなどで世界大の作物不作が続いており、コロナだけでない疫病が続くでしょう。民族紛争、国家間の争い、その他、これまでの漫然とした生き方では、生き長らえることは難しくなってくるでしょう。

アメリカでは、コロナワクチン接種に反対した牧師が感染して死んだという報道がされました。それにも関わらず、ワクチンを接種しようとしないう人々が数千万人いることに驚きます。

ネブカデネザルの子、ベルシャツアル王は愚かな王でした。大宴会を催しているとき突然、「人間の手の指が現れ、王の宮殿の塗り壁」(5:6)に文字を書きました。恐れる王に対して、王母は、「あなたの王国には、聖なる神の霊の宿る人がいます。」(5:11)とダニエルを指名します。ダニエルは、「天の主に向かって高ぶる」と王を非難し、その文字「メネ、メネ、テケル、ウ・パルシン」を訳します。その意味は、王が軽い者なので治世を終わらせ、国は分割されて、メディアとペルシャに与えられる、ということです。「その夜、カルデア人の王ベルシャツアルは殺された。」(5:30)ネブカデネザル王の指導に従わず、「ベルシャツアル王よ、あなたはこれらのおことをすべて知っていたいながら、心を低くしませんでした。」(5:22)と裁かれらのです。

「あなたがたの心が、放蕩や深酒やこの世の煩いのために沈み込んでいくところに、その日がわなのように、突然あなたがたに臨むことのないように、よく気をつけていなさい。」(ルカ21:34)。もはや、これまでのように油断して生きていることは許されない時代になっているのです。